

平成29年度第5回九州厚生局地域包括ケア市町村セミナー

■ 今回のテーマ 在宅医療・介護連携に市町村はどう取り組むべきか

■ 目的 在宅医療・介護連携推進事業は、地域支援事業の包括的支援事業として位置づけられ、平成30年4月にはすべての市町村において、(ア)～(ク)の事業項目を全て実施することになる。

今回、市町村が主体となって地域における様々な社会資源等を有効に活用し、課題解決に向けた取り組みを行っている実例報告を中心に紹介し、取り組むべき課題を整理・検討を行う。

■ 対象 市町村職員等
(県庁職員等の傍聴可)

■ プログラム

【第5回 平成29年11月30日(木) 沖縄県庁4階・講堂】
沖縄県共催予定 (那覇市泉崎1-2-2)

①開会挨拶	13:00～13:10	【九州厚生局長】
②行政説明	13:10～13:40	【厚生労働省老健局総務課】
③実例報告	13:40～14:20	【宮崎県日南市】 「宮崎県日南市における在宅医療・介護連携推進事業～Sunオーリーブによる多職種連携事業の取組～」
④実例報告	14:20～14:50	【沖縄県宜野座村】 「在宅医療を共に支える「我った一むら」～自分らしくおえるために～ (生える・老える・終える)」
⑤実例報告	15:00～15:30	【沖縄県恩納村】 「沖縄県中部地区における在宅医療介護連携推進事業の取組み～保険者・市町村の役割とは…～」
⑥グループ討議	15:40～16:50	
⑦連絡事項	16:50～17:00	